

## 平成 30 年度 FD・SD ウィークの実施結果について（報告）

高知大学大学教育創造センター

### 1. FD・SD ウィークの趣旨と目標

【趣旨】教育改善に関する教職員の意識改革の一環として、従来の相互授業参観を見直し、各学部等 5 授業程度を選んで公開授業とし、授業参観の機会を増やす。これによって

- (1) 授業公開者の授業改善を行う。
  - (2) 授業参観を通じて参観する側の教員が授業についての内省を通じた教育改善を図る。
  - (3) 職員は授業参観を通じて、大学の授業について理解する第一歩とし、業務への反映を図る。
- ことをめざす。

#### 【目標】

##### (1) 授業公開教員

参観者から得たフィードバックをもとに、次年度以降の授業改善を行う。

##### (2) 授業参観教員

参観した授業から得られた気づきや新たな教授法などを参観者が内省し、自らの授業改善・教育改善に活かしていく。

##### (3) 職員

公開授業を参観することで、本学が行う教育の一端に触れ、日常の業務に反映させていく。

### 2. 実施期間と開講科目数

期 間：平成 30 年 10 月 23 日（火）～平成 30 年 12 月 19 日（水）

科目数：39 科目（延べ 96 回開講 ※e ラーニング科目は 1 回として集計）

### 3. 参加者数（参観申込者数、授業参観記録登録者数）

本年度の、FD・SD ウィークの授業参観は、Web ページ上の集計で教職員合わせて延べ 328 人（教員 67 人、職員 261 人）の申し込みがあり、参観後の授業参観記録登録者数は延べ 280 人（教員 58 人、職員 222 人）であった。

（昨年度実績：申込者 355 人（教員 107 人、職員 248 人）、授業参観記録登録者 306 人（教員 87 人、職員 219 人））

科目ごとの参観申込者数及びコメント登録者数（延べ人数）

時間割コード	科目名	参観申込者数			授業参観記録登録者数		
		教員	職員	計	教員	職員	計
01904	学問基礎論	1	16	17	1	16	17
02014	外国文学	2	21	23	2	16	18
02018	文学と社会	1	16	17	1	14	15
03005	憲法を学ぶ	2	6	8	2	6	8
03007	市民生活と法	2	5	7	1	5	6
03017	経済を考える	2	7	9	2	7	9
03035	ビジネスのための中国理解	1	5	6	1	4	5
04023	情報社会と情報技術	1	2	3	1	2	3
04036	みのまわりの科学	1	16	17	1	14	15
04156	サイエンスリテラシーの化学	4	10	14	3	3	6
06604	生命倫理学		23	23		21	21
06621	スポーツ科学講義		1	1		1	1
06623	スポーツ科学実技B		10	10		7	7
07157	学びの統合入門	4	17	21	3	14	17
08302	非営利組織経営基礎演習	1	1	2	1	1	2
41001	初等国語	3	7	10	3	7	10
41021	初等体育Ⅱ	2		2	2		2
41032	音楽表現技術		4	4		4	4
49012	生徒指導・進路指導	1	5	6	1	4	5
49110	教育の方法・技術（初等）	5	5	10	5	5	10
51104	医科物理学Ⅱ		8	8		7	7
60002	地域組織論	1	1	2	1	1	2
71118	確率統論	2	1	3	2	1	3
71502	物理学概論	6	1	7	5	1	6
73113	動物系統学	3	25	28	1	18	19
73117	生物圏進化学	1	4	5		3	3
75326	分析化学演習	5		5	5		5
76124	オブジェクト指向プログラミング	3		3	2		2
76362	海洋生命・分子工学実験Ⅰ	2		2	1		1
77110	耐震工学	2	16	18	2	15	17
81021	農業経営学	1	12	13	1	9	10
81051	地域生態学	3	3	6	3	3	6
82040	応用微生物学	1	6	7	1	6	7
83013	海洋微生物学	3	3	6	3	3	6
83017	水産化学	1	3	4	1	3	4
92230	IELTS 講座Ⅱ		1	1		1	1
合計		67	261	328	58	222	280
(2017年度合計)		(107)	(248)	(355)	(87)	(219)	(306)

#### 4. 授業参観記録

授業参観後に、参観者が Web 上で授業参観記録を作成した。その質問項目（記述コメントおよび選択回答）と回答の要旨を以下に示す。

##### 【教員】

**（１）参観した授業について、教員の授業方法や学生の学習形態等について、特に印象に残ったことはどんなことですか。（自由記述式）**

今回公開された授業は、昨年度に引き続きグループワークやその他の学生参加の要素を取り入れた授業が多く、その点を印象に残ったこととして記載している教員が多数であった。この他、スライド資料の工夫、課題や資料の事前配付、授業や話の組み立て、レポート等へのきめ細かい指導等に対するコメントが見られた。一方で、話し方や進度、資料提示の仕方等講義型授業の手法に関する記述も多く、昨年度より増えているようであった。

e-Learning 科目についても記述が多く、e-Learning システムを予復習に使う可能性があることや、フォーラムでのディスカッション等を見て双方向性の担保についても効果を感じたという記述があった。

**（２）授業を参観して、あなたが実施している授業方法や学生の学習形態等についてあらたに気づいたことはどんなことですか。（自由記述式）**

（１）への回答以上にアクティブ・ラーニングに関する記述が多くみられた。例えばアイスブレイキングをした方が良いとか、授業中に提示する課題の工夫、グループへの介入の仕方、振り返りの仕方等である。特に振り返りとしていつも自分で今日の内容をまとめていた教員から、学生自身が振り返る様子を見て次年度は導入してみたい等の記述があった。

e-Learning についても、フォーラムでのディスカッションを見て、双方向性が担保できそうなのでチャレンジしたい、発言を促すツールになりそう等のコメントがあった。

**（３）参観した授業での授業方法や学生の学習形態等で、自分の授業にも取り入れてみたい、あなたの授業に取り入れることが可能だと思うことはどんなことですか。（自由記述式）**

（１）、（２）と同様にアクティブ・ラーニングについて触れられている記述が多かった。可能な範囲で取り入れてみたい、同様の工夫をしてみたい等のコメントが見られた。特に知識の部分を e-Learning で行う可能性に触れている方が複数あった。また、設問シート等を取り入れる等、時間外での e-Learning の使用や、時間外での振り返りプリントの使用等、時間外学修に関する記述も多くあり、実質化による教育の質保証に関する関心の表れとも取れるコメントが多く見られた。

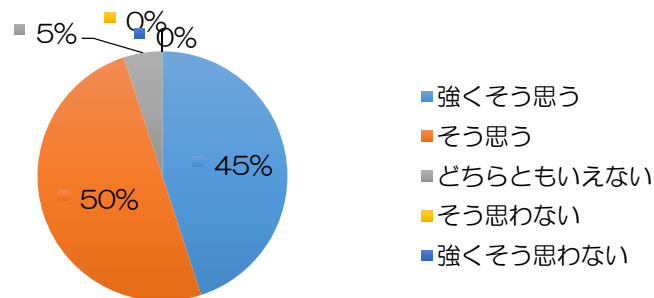
**（４）参観した授業の授業方法や学習形態について、授業担当者へのコメントがあれば書いてください。（自由記述式）**

参考になったことが多く、担当者へのお礼が多く見られた。その上で、授業内容に関する質問がいくつか見られた。e-Learning 科目の継続、ドロップアウト防止の工夫に関する質問や、学生のプレゼンのやり方に関すること、振り返りの仕方、板書の見え方等に関するコメントがあった。本年度はさらにアクティブ・ラーニング導入の提案も多く見られ、参観者側にもアクティブ・ラーニングの実施者が増えていることが伺えるコメントが見られた。

**（５）この取組は、あなたの授業改善や教員としての意識改革に役立つものでしたか。（５段階択一式）**

95%が肯定的な回答をしており、良い取組であったことが伺える。

(5) この取組は、あなたの授業改善や教員としての意識改革に役立つものでしたか。



	度数	割合
強くそう思う	26	45
そう思う	29	50
どちらともいえない	3	5
そう思わない	0	0
強くそう思わない	0	0
	58	100

### 【職員】

(1) 参観した授業で、講義の教育方法や学習形態等について、特に印象に残ったことはどのようなことですか。(自由記述式)

昨年度に引き続き、教員に比べて具体的な記述が多く見られた。教員の授業に触れる機会が少ないことから、授業の進め方や手順に目新しさがあったと思われる。昨年度に引き続き、アクティブ・ラーニングに関する記述が多かった一方で、本年度は講義形式の授業へのコメント数も多かった。ただし講義形式の授業でも、学生の発言を促す工夫についてコメントされており、講義主体の授業でも参加型の手法が取り入れられている様子がコメントから伺えた。

職員のコメントには、授業内容に関する興味・関心が伺えるコメントも多くあり、教員と異なる。また、インターネットの利用やスマホの使用、プレゼンウェアの活用等に興味、関心、驚き等いろいろな感想を持たれたようである。

(2) 参観した授業で、学生の様子について気がついたことはどのようなことですか。(自由記述式)

学生の望ましくない態度について、具体的な指摘が多く見られた。遅刻や途中退出、スマホやPCの授業に関係ないサイトの閲覧や居眠り、私語が気になったようである。また、これらの行為に対する担当教員の対応についてのコメントも見られた。

アクティブ・ラーニング型授業では、受講生の積極的な参加に驚きも含めて好意的コメントが多かったが、一方で、問題のある参加態度に関するコメントも見られ、参加型の授業形態は取り入れているものの、アクティブ・ラーニングと言うには工夫が必要な授業もある様子であった。

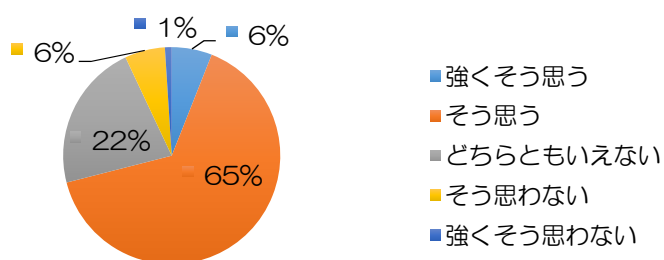
(3) 参観した授業について、授業担当者へのコメントがあれば書いてください。(自由記述式)

昨年度に引き続き、授業内容に関心がある旨のコメントが多く見られた。本年度は、授業内容には直接関係が無い、同時学習の内容(授業手法によって内容を学ぶために同時に起こるコミュニケーションやアウトプットに関する技能等)にも触れられている点が見られた。

(4) 参観が行われた教室の環境の整備や設備について、学習に適していると思いませんか。(5段階択一式)

71%が、肯定的な回答をしており、否定的な回答は7%であった。どちらとも言えないという回答が22%と多い。

(4) 参観が行われた教室の環境の整備や設備について、学習に適していると思いませんか。

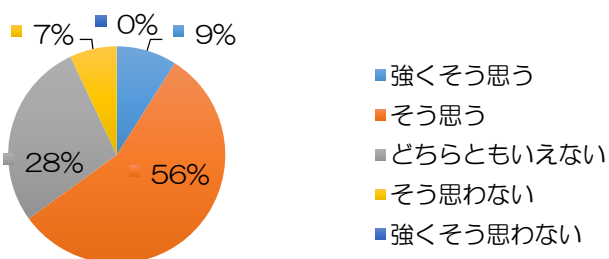


	度数	割合
強く思う	13	6
そう思う	144	65
どちらともいえない	49	22
そう思わない	12	6
強く思わない	3	1
	221	100

(5) 授業を参観して、高知大学の教育（授業）を自らの業務に関連づけて考えましたか。(5段階択一式)

肯定的回答は65%で、これらの職員は業務との関連を感じながら参観をしていただいたようである。昨年度より若干減少しており、今後傾向を観察する必要がある。

(5) 授業を参観して、高知大学の教育（授業）を自らの業務に関連づけて考えましたか。

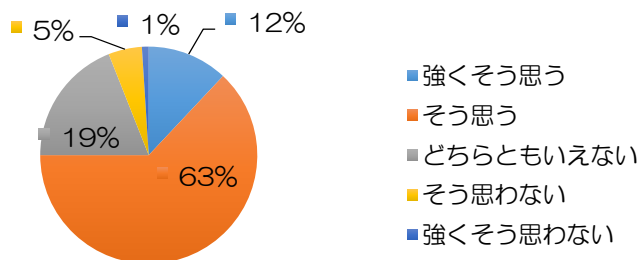


	度数	割合
強く思う	20	9
そう思う	124	56
どちらともいえない	62	28
そう思わない	15	7
強く思わない	0	0
	221	100

(6) この取組はあなたの大学教育への理解の促進や、大学職員としての自分を見つめ直す機会となりましたか。(5段階択一式)

肯定的回答は75%で、この企画の効果があったものと言える。

(6) この取組は、あなたの大学教育への理解の促進や、大学職員としての自分を見つめ直す機会となりましたか。



	度数	割合
強く思う	26	12
そう思う	139	63
どちらともいえない	42	19
そう思わない	12	5
強く思わない	2	1
	221	100

(7) (4) ~ (6) の回答の理由や、来年度の本取組の実施に向けての忌憚のないご意見・ご要望をお聞かせください。(自由記述式)

(5) との関連で、(自分の職務上) 学生と接する機会が無いので、この企画の意味がわからないと言うコメントがあった。反対に AP 事業終了後も継続してほしいという声もあった。大学は学生を育て、社会に送り出すために存在しており、その中で各事務組織がどの部分を担当しているかは直接でなくても必ず関連がある。その点を意識してみていただきたい。

本企画が3年目になり、一昨年度に引き続いての2度目の2学期開催で、公開授業が固定されている等の指摘があった。また昨年度に引き続き、キャンパスの移動や業務時間が削られる問題点の指摘があった。特に岡豊キャンパスでの公開授業を増やしてほしいと言う要望が多くあった。解決策として、e-Learning 科目の授業公開も行っているが、本年度新たにネットワーク環境が悪く、e-Learning コンテンツの閲覧がしにくい等のコメントが見られ、検討の余地がある。

## 5. 成果について

参観後のアンケート調査の結果から、本企画の趣旨や目標に対する成果として、次のようにまとめられる。

### 【授業公開教員】

アクティブ・ラーニングを取り入れている授業の比率が増加し、これまでの授業改善の取組が成果を上げている様子が伺える。また、参観した教員から、アクティブ・ラーニングの手法に関するコメントがあり、更なる参加型授業の改善が可能になる。職員からのコメントは、具体的なものが多く、授業公開教員が授業改善の検討を行う上で参考になる資料が得られた。

### 【授業参観教員】

今回の参観授業では、意識改革に役立つものでしたかという問いに、95%が肯定的な回答をしており、この企画が効果的であったといえる。また、e-Learning 科目についてもこの企画で初めて観た、知ったという教員も多く、効果的な e-Learning の利用についてもコメントが書かれていた。e-Learning 科目に対して、食わず嫌いの教員が多いのが現状だと思われ、この企画で少しでも触れてもらえれば、良さがわかってもらえると思う。本年度は時間外利用の可能性や双方向性の担保等についてコメントがあり、利用の可能性に触れられていた。

### 【職員】

授業参観を業務に関連づけて考えていた方が多数いた。例えば、設備、教室の状況等を直接業務に関連づけて見た者や、学生対応窓口での業務にとっては教室での学生の様子等は直接業務に関連する内容として感じ取ったようである。

参観後のアンケートで、教室設備、本企画に関する Web システム等の具体的な改善点の指摘も大いに参考になった。